



# のう じ でん そう 農 時 電 送

馬鈴しょNo.1

JAきたひやま・JA新はこだて若松基幹支店・JA今金町  
檜山農業改良普及センター檜山北部支所 TEL 84-5514

## 馬鈴しょの病害虫防除について

5月の天候は、平均気温は平年並ですが、断続的な降雨があり平年より降水量が多い傾向にありました。疫病が直ちに発生する条件ではありませんが、予防的な防除は必要になります。排水が悪いほ場や、防風林の側など風のこもる場所では高湿度となるため、馬鈴しょ疫病の発生に注意が必要です。また、全道の情報では、アブラムシの発生は早く、発生量も多めです（北海道防除所6月発表）。注意が必要です。

### 《疫病》

- ・ 6月上中旬から7～10日間隔の予防散布を基本とします。
- ・ 疫病の発生がみられた場合、防除間隔を短縮し、治療効果のある薬剤を使用してください。
- ・ 耐性菌の発生を防ぐため、同一成分の薬剤による防除を避けましょう。

表1 馬鈴しょ疫病に効果のある薬剤一覧（例）

薬剤名	予防/治療	使用濃度	使用回数	使用日数
グリーンペンコゼブ水和剤	予	400～600倍	10回	7日前
ゾーベックエンカンティアSE	予・治	2000倍	2回	14日前
リライアブルフロアブル	予・治	800～1000倍	3回	7日前
カビナイスPZ水和剤	予・治	600～800倍	4回	7日前
プロポーズ顆粒水和剤	予・治	750～1000倍	5回	7日前
フロンサイドSC	予	1000～2000倍	4回	7日前
レーバスフロアブル	予・治	1500～2000倍	2回	7日前
ホライズンドライフロアブル	予・治	1000～2500倍	4回	14日前
ランマンフロアブル	予	1000～2000倍	4回	7日前

※レーバスフロアブル、プロポーズ顆粒水和剤は、同じ系統（カルボン酸アミド系）なので連用を避ける。

※マンゼブを含む農薬（グリーンペンコゼブ水和剤、カビナイスPZ水和剤）の総使用回数は10回以内なので注意する。

### 《アブラムシ》

- ・ 発生時期やアブラムシの種類に応じて薬剤を選択しましょう。
- ・ 特に種子馬鈴しょほ場は、周辺雑草（クローバ、ヨモギ等）の除草に努めてください。

表2 アブラムシの種類と有効な薬剤一覧（例）

薬剤名	浸透移行	使用濃度	使用回数	使用日数	アブラムシの種類		
					ジャガイモヒゲナガ	モモアカ	ワタ
ダーズバン乳剤40	○	1500倍	2回	7日前	◎	◎	○
ベジホン乳剤	×	1000～2000倍	2回	30日前	◎	○	◎
モスピランSL液剤	○	2000～6000倍	3回	7日前	○	○	◎
ダントツEXフロアブル	○	5000倍	3回	7日前	○	○	◎
ピレスコ顆粒水和剤	○	5000～10000倍	3回	7日前	◎	◎	◎

**土壌病害の拡散防止！機械・長靴の洗浄励行！**  
**農作業安全～疲れは事故を招きます。休憩・睡眠は充分に！**